

第26期中央委員研修会

国際労働組合中央委員会の実相と中央委員の職務と責任



勝又先生を中心に全員で記念撮影



講師 勝又浩正先生

第26期中央委員研修会を2016年1月25日(月)～26日(火)1泊2日で、神奈川県三浦市「マホロバマインズ三浦」において講師に日本労働教育研究所代表勝又浩正先生をお迎えして、本部役員11名、中央委員41名の出席で開催しました。

石田組織部長による開会宣言の後、茨木中央執行委員長より「国際労働組合では法的に設置義務のない中央委員会を設置していることについて、その理由や役割について大いに学んでください」と挨拶がありました。続いて7つに分かれたグループ研究では、『組合規約・諸規定の条項から読み取れる中央委員会設置の目的と性格』と『中央委員各位の役職上の属性から考えられる中央委員会の機関としての性格への影響』について、本部役員も交え熱心な議論をかわしながら課題をまとめました。発表では勝又先生はじめ他のグループからも積極的に質問がされ予定時間をオーバーする白熱した研修会となりました。



茨木中央執行委員長

2日目もグループ発表が行なわれ、前日にも増して激しい議論となり、中央委員皆さんの研修に対する積極的な姿勢が見て取れました。その後、勝又先生より『国際労働組合中央委員会の背反性と中央委員の重責』と題して総括講演をいただき、『中央委員会は執行機関の知恵袋として組合員の待遇向上のために執行力の向上と透明性をより高める役割を担う重要な機関』であることを学び、“Cool Head と Warm Heart” をキーワードとして今後も活躍を期待しますとの言葉をいただき、2日間の研修は終了しました。今回の研修会が今後の組合活動に活かされることを期待します。参加された中央委員の皆さん大変お疲れ様でした。



グループ研究

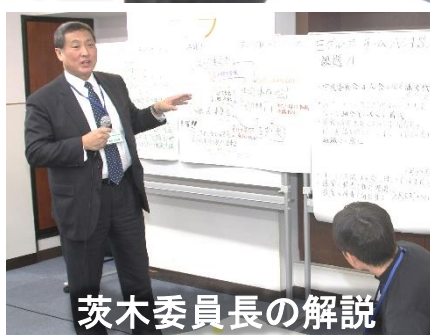


勝又先生との真剣な質疑のやりとり

グループ研究
議論・発表風景



茨木委員長の解説



勝又先生の講演を熱心に聴講する中央委員の皆さん